

## 木次線利用客向上について

### 提 案

1. 木次線利用について市民の皆さんがどの様にお考えか掘り下げて聞く必要が有るのではないのでしょうか。
2. 木次線応援団との連携について、先般開催された「木次線沿線活動団体との意見交換会 in 雲南」に於いて雲南市関係で 17 団体の内 2 団体が参加しておられるように見受けました。長い間木次線を応援して来られた団体の意見を聞くのは重要と思いますが、どの様な呼びかけをされたのでしょうか。意見交換会に反対だったのでしょうか。
3. 雲南市観光協会（雲南市長が会長）の参加が無かったようですが雲南市観光協会は木次線と一体となって観光事業を進める考えはないのでしょうか。呼び掛けをされなかったのでしょうか。
4. 雲南夢ネット等を通じて多くの市民の皆さんに呼びかけ意見交換をされない理由をお聞かせください。
5. 今回の意見をまとめて次回の会を開催されるとのことですが、今回の意見は総論的意見で具体論は余りなかった様に思います。タイトルそのものが閉鎖的な感じを与えるものでした。広く意見を聞くというものではないという感じでした。  
木次線の諸情勢を考えますと非常に厳しい状況であると思います。今一番大切なのは乗車人数と運賃の向上を図ることが重要と思います。乗車客数と運賃の向上対策の提案がないまま会を開催しても意味が無いと思います。  
令和 3 年度を基準に数値目標を設定し乗車人数と運賃額を具体的に提示して頂き、それに基づき対策を意見交換して実現を図る会にされては如何でしょうか。
6. 雲南市職員の皆さんに通勤に木次線を使用して頂くのは無理があると思います、それよりも家族や友人、知人とレクリエーションや交流会、子供の学習等で利用して頂く方法は如何でしょうか。
7. 時間に余裕のある方々に木次線を利用して頂く方法を検討しては如何でしょうか。（例えば老人クラブ交流会、旅行等を木次線を利用して頂く）
8. 自治会を始め各種団体へ木次線の現状を伝え、利用の方法も併せ木次線利用へ呼びかけをされては如何でしょうか。
9. 雲南市外から木次線を楽しんでいただく方々に来ていただく取り組みが重要と思います。方法は沢山あると思いますので研究会を立ち上げ検討されては如何でしょうか。
10. 木次線を応援されている方々に鉄道存続に行政が積極的に取り組んでおられる鉄道を視察して頂き、今後頑張ってもらっては如何でしょうか。

回 答

大変貴重なご提案をいただき、誠にありがとうございます。

各提案内容につきまして、次のとおり回答をさせていただきます。

1. つきましては、言われますように市民の皆様の声を聴くことは、非常に重要であると考えております。こうした思いから今回、意見交換会を開催しているところです。今後は利用されない理由について掘り下げて聞くことで、その解決策が見出され、については木次線の利用促進に繋がるものと考えております。今後、あらゆる場で、そうした意見を吸い上げていけるよう、努めて参ります。
2. つきましては、これまで奥出雲町及び雲南市の両会場において 1 回ずつ開催しております。奥出雲町会場については、日頃から木次線に対し、様々なご支援をいただいている団体様に対し、行政側から直接打診して参加をいただいております。雲南市会場については、より多くの方にご参加いただけるよう、木次線利活用推進協議会のホームページやSNS、雲南夢ネットの文字放送を活用して参加者を募ったところです。
3. つきましては、雲南市観光協会に対しても、事務局より参加を打診しております。業務等の都合もあって、雲南市会場の意見交換会には参加されませんでした。奥出雲会場の方に1名の職員の方にご参加をいただいております。
4. つきましては、先に申し上げましたとおり、奥出雲町会場については、日頃から木次線に対し、様々なご支援をいただいている団体様に対し、行政側から直接打診して参加をいただいております。雲南市会場については、より多くの方にご参加いただけるよう、木次線利活用推進協議会のホームページやSNS、雲南夢ネットの文字放送を活用して参加者を募ったところです。また、過去2回の意見交換会は報道機関による取材等は行っておりませんが、3回目以降からは、雲南夢ネットをはじめ報道機関に対して、積極的に周知することで、より多くの皆様に関心を持っていただき、ご参加をいただけるようにしていきたいと考えております。
5. つきましては、これまで2回の意見交換会のなかで、利用者を増やすための取り組みについて、様々なご意見をいただいたところです。現在7月に開催を予定している、第3回目の会議において、利用者増に向け、より具体的な議論を行いたいと考えております。国で議論されている鉄道維持の基準は非常に大きな数字であり、目標とするところはその数字にはなりますが、一人でも多くの方にご乗車いただくことにより鉄道維持が図られると考えておりますので、引き続き、利用促進に努めてまいります。
6. つきましては、多くの方に木次線を利用していただくためには、様々なイベントを絡めることは非常に効果的と考えております。木次線利活用推進協議会でも、6月末より、「謎解きイベント」を行うこととしており、ご家族で木次線を利用していただければと考えております。その他にも様々なイベントについて、協議会をはじめ、今回の意見交換会のなかで、ご提案いただけるものと期待をしているところです。
7. つきましては、市内には、木次線を応援してくれる様々な団体があります。こうした方々のご協力は必要不可欠であり、各団体が連携した取り組みを行えば、より効果的に利用促進が行えるのではと考えております。こうしたことから、現在「(仮称)木次線応援団」の創設が出来ないものか関係機関と協議を行っているところです。
8. つきましては、現在「木次線でGO!」といった助成事業を行っておりますが、年度当初のところで、各交流センターや各種団体等に対して、チラシ等の配布を行っております。そうしたこともあって、自治会をはじめ、各種団体からご利用をいただいているところです。より多くの利用があるよう、市報等を活用し、引き続きPR活動を行って参りたいと考えております。
9. つきましては、市外の方にも多くの方に利用してもらえよう、既存の木次線利活用推進協議会を中心に関係機関と密に連携し、取り組んで

参りたいと考えております。

10. つきましては、全国で木次線と同じような境遇のなか、利活用の取り組みにより、実績をあげている鉄道もあります。こうした先進地の取り組みを研究することは、非常に重要であると考えておりますので、実施方法等について、今後検討して参ります。

(回答部署 政策企画部うなん暮らし推進課)